



日本医師会女性医師支援センター事業
「北海道・東北ブロック会議」開催報告
(北海道・青森・秋田・宮城・福島・岩手)

平成30年2月14日

岩手県医師会女性医部会 幹事 梅邑 明子

北海道医師会

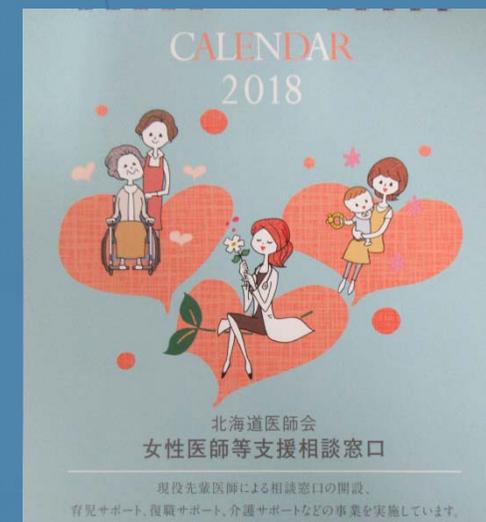
- 北海道医師会女性医師等支援相談
平成23年6月に開設以降、合計541件
(平成29年11月20日現在)

育児サポートに関することなど幅広く対応
また、カレンダー等を作成して積極的に広報

- 医学生・若手医師キャリアデザインセミナー
参加者33名（医学生15名を含む）

医学生・若手医師が企画と運営
医師の働き方をテーマにグループワークを行う

↓
医学生・若手医師が医師会活動に参画



医学生・若手医師 キャリアデザインセミナー

これからのキャリアを考える
医学生・若手医師が医師の働き方改革のビジョンを知り、
学び、年代を超えた交流と、これからの働き方を考える。

2017年
9月3日 13:30-15:30
北海道医師会館8階【会議室】札幌市中央区大通西6丁目

申し込みはこちらから
申込みサイト: <https://goo.gl/forms/oBOeDZuShwLDr1wA2>

第一部
話題提供
13:30~13:50
「働き方改革の背景とディセントワーク」
講師: 林 美枝子先生 (日本医科大学看護学教授)

第二部
グループワーク
13:50~15:30
「働く環境について」

会場には、JMAIDN(ジュニアドクターズネットワーク)の協力もいただいています。

お問い合わせ 北海道医師会事業第三課
TEL 011-231-1726 メール 3ka@m.douj.jp
上記アドレスに氏名・所属・卒後年数・学年を記載してお送りいただくか、
裏面の申込書にてお申込みもできます。

青森県医師会

■ 医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナー

平成28・29年度 シンポジウムテーマ「私の選んだ道」

☆ 様々な診療科・ライフスタイルの医師にシンポジストを依頼しています。

平成28年度

出席者：40名（医師23名、医学生14名）

平成29年度

出席者：33名（医師23名、医学生10名）



秋田県医師会

- 新医師のための地域医療セミナー & 新医師歓迎レセプション
(H28年度)

新医師歓迎会にて県医師会の男女共同参画に対する取組みを紹介し、
医師会への加入を推進

- 「2020.30地区懇談会」 in 横手地区

臨床研修病院を訪問して、事業の周知および課題の共有



宮城県医師会

■第11回女性医師支援セミナー

イクボス大賞・特別賞受賞表彰式および
『広がれ！イクボス・イクメンの輪Ⅱ』をテーマに講演会を行い、
男女共同参画を推進



女性医師の支援・育成に熱心に
取り組んでいる施設（病院）



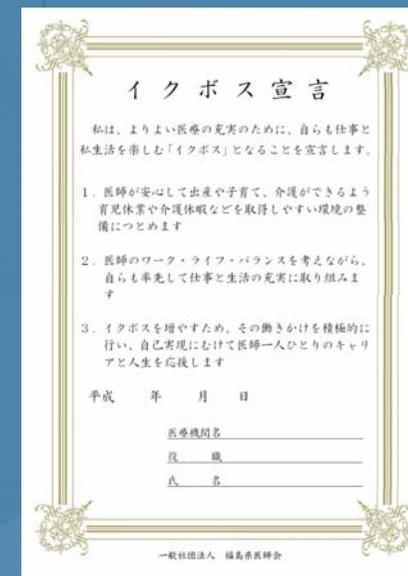
女性医師の支援・育成に熱心に
取り組んでいる個人（医師）

福島県医師会

- 福島県医師会「イクボス宣言」の作成
※秋田県医師会に倣い福島県のイクボス宣言も参考

イクボス宣言したい・した人を募集して
医師会HP上で紹介する予定。

また、勤務環境改善研修会等において配布し周知



- 「女性医師の勤務環境に関するアンケート」の作成

県内の病院に勤務する子育て世代の医師の勤務実態や
どのような支援を求めているかを把握。
医師会としての医師支援活動に反映させる。

岩手県医師会

■ 岩手県医師会女性医部会と県内の女性医師との懇談会 New!

参加者を4つのグループにわけKJ法により問題点を抽出後、各グループから発表を行った

- **育 児⇒ニーズにあった支援が必要**
- キャリア⇒専門医取得と子育ての両立は難しい
- 介 護⇒相談窓口・経験のある医師の意見を聞く場がほしい



■ 第2回岩手県医師会女性医部会幹事会

群馬県医師会 理事 今泉 友一 先生、担当職員に来県頂き「女性医師就業支援」について情報交換を行った

働きながらの育児や職場復帰をお考えの
ドクターをサポートいたします
[岩手県女性医師就業支援事業]
ご案内



育児支援
復帰研修

社団法人 岩手県医師会
(岩手県委託事業)

群馬県医師会
仕事と家庭(育児)の両立を目指している子育て医師の方々へ!!

保育サポーターバンク をご活用ください

保育サポーターバンクとは

- ◎目的は、子育て医師が仕事と家庭を両立するための支援です。
- ◎支援内容は、サポーター等が保障と併せてできる範囲であれば制事はありません。(育児・復帰研修や就業支援も、双方の意思で実施すれば可能です。)
- ◎報酬は、支援内容に基づき医師とサポーターが話し合ってお決めします。
なお、相談員よりモデル報酬は提示いたします。

支援の例

- ◎子どもと一緒に自宅(もしくはサポーター宅)で療育
- ◎ママやパパの都合の悪い時の保育(2時間)の迎えと、引き続きの遊ばせの送り
- ◎ママやパパ(女性)に合わない時の保育(2時間)の迎えと、その場サポーター宅での療育
- ◎ママが出勤の日(休日も含む)、パパが急病でけしを出した際の帰宅(もしくはサポーター宅)での療育
- ◎その他、必要な支援



群馬県医師会
群馬県医師会
子育て医師就業支援相談員
〒971-0002 群馬県高崎市千代田1-1-4
TEL:027-231-6311 FAX:027-231-7967 E-mail:shuku@mail.gunma.med.or.jp

群馬県医師会
TEL:080-1115-4176 月～金曜(日祝日を除く)
10:00～18:00



群馬県医師会保育サポーターバンクは**子育て医師保育支援相談員が**
群馬県医師会に常駐し、保育サポーターを紹介

■平成28年度岩手県医師会女性医部会総会

特別講演「山口県における女性医師支援の活動」

山口県医師会男女共同参画部会 部会長 兼
山口大学医学部附属病院 医療人育成センター副センター長
黒川 典枝 先生



山口県医師会においても保育相談員が医師会に常駐している

■ 岩手県医師会と岩手県との協議会【平成29年10月27日】

「女性医師就業支援事業の継続のお願い」

専従の**育児支援相談員**を配置することを検討中

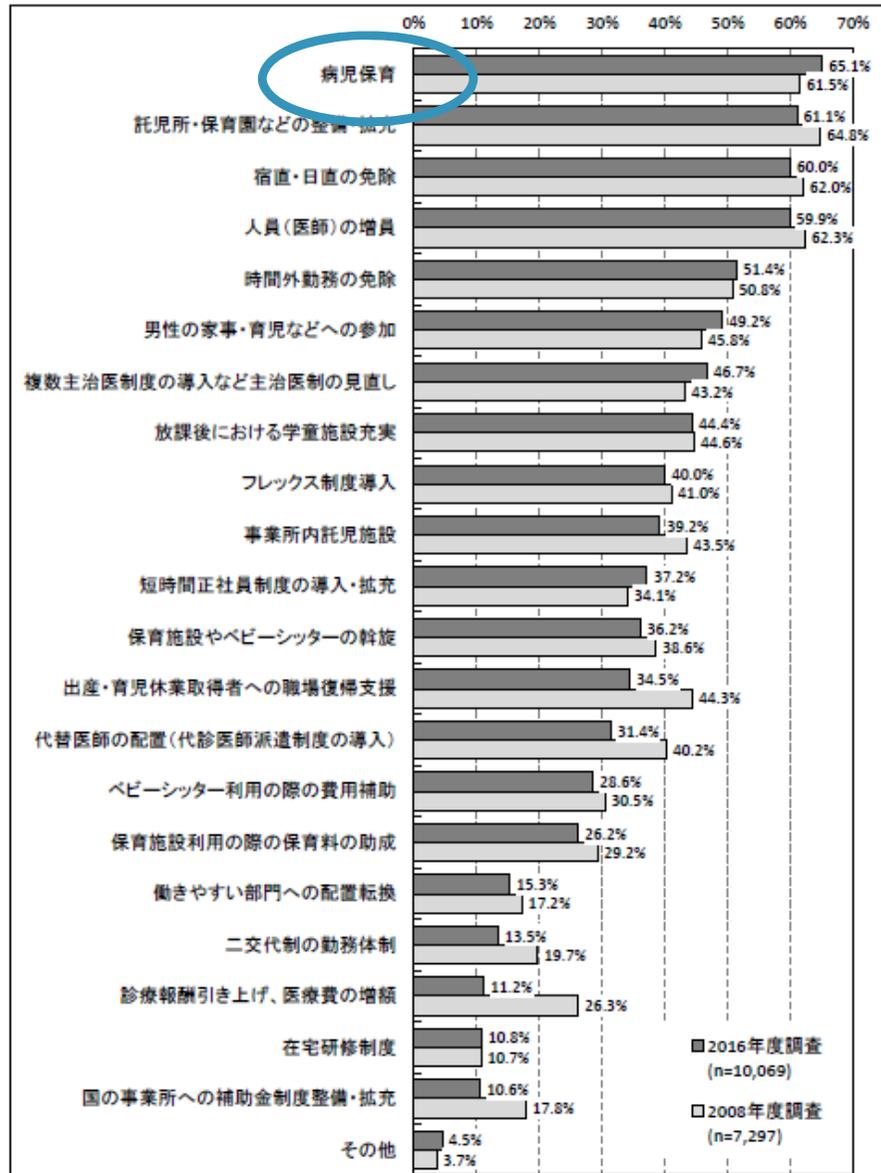


<県からの回答>

県としては、限られた財源の中で効果的な支援が継続的に行えるよう、医師会の意見を踏まえ、より連携を密にして必要な見直しと事業内容の充実に努めていきたいと考えている

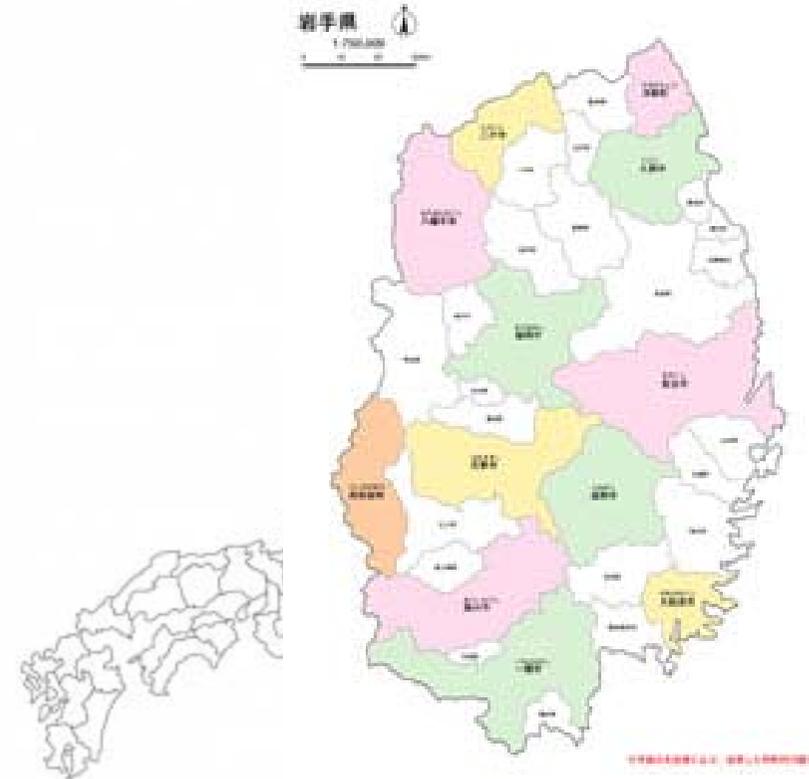
仕事を続ける上で必要な制度

図 36 仕事を続ける上で必要な制度や仕組み・支援対策（前回比較）【複数回答】



岩手県内の病児保育施設

病児対応型 11施設
 (盛岡市3施設)
 病後児対応型 13施設



(無回答を除く)

岩手県立中央病院（院内保育所、病後児保育あり） 病児保育についてのアンケート調査結果 抜粋 （回答：女性医師 15名）

未就学児が体調不良、病気をした時の対応について
（複数回答あり）

- ▶ **自分が仕事を休む** 6
- ▶ 配偶者が仕事を休む 2
- ▶ 同居の祖父母に預ける 1
- ▶ 別居の祖父母に預ける 3
- ▶ 病児保育を利用する 1
- ▶ 病後児保育を利用する 2
- ▶ 無理して通常保育を利用する 2
- ▶ ファミリーサポートセンター利用 2
- ▶ 職場に連れて行く 1

病児保育制度に対する考え方について (複数回答あり)

- ▶ 子育てと仕事の両立に必要な制度である 12
- ▶ 病気の時くらいは親が看護すべきであるが、現実的には必要な制度である . . . 8
- ▶ これから先充実すべき制度である 8

勤務している病院に病児保育があれば利用するか

- ▶ 利用する 11
- ▶ どちらともいえない . . . 3
- ▶ 無回答 1

その他、病児保育に関する要望・意見

- ▶ 市の病児保育は定員がいっぱいになり、利用できないことも。
- ▶ どうしても休む都合が見つからない状況はありうるので、病児保育は必要。
- ▶ スペース、人手、ナースの問題があり、現実的には難しい。
独自のファミリーサポートがあればうれしい。

保育サポーターバンクの早期実現
医師不足解消・働き方改革

ご静聴ありがとうございました

• • • to be continued

